

第 20 回日本口腔ケア学会総会・学術大会 薬剤師部会企画

実践！薬剤師のための“口腔内フィジカルアセスメント”ハンズオンセミナー

大山 順子¹⁾、吉濱 るみ¹⁾²⁾、井上 昂也³⁾、林 直子⁴⁾⁵⁾、岩田 紘樹⁴⁾⁵⁾、山浦 克典⁴⁾⁵⁾

- 1) 九州大学大学院歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座 口腔顎顔面外科学分野
- 2) 九州大学病院 臨床教育研修センター きらめきプロジェクト
- 3) 九州大学病院 口腔総合診療科
- 4) 慶應義塾大学薬学部附属薬局
- 5) 慶應義塾大学薬学部薬学科 医療薬学・社会連携センター 社会薬学部門

昨年の第 19 回日本口腔ケア学会総会・学術において、本学会は大阪宣言を発出しました。これは『口腔ケアは 30 年間にわたる多職種の実践の努力で、今では「医療におけるメインストリーム」としての位置を確立した。さらなる口腔ケアの発展には、薬学部の薬剤師教育における薬剤師の口腔ケアへの参画が重要であることを宣言する。』というものです。

さらに、文部科学省で現在改訂素案作成中の「薬学教育モデルコアカリキュラム」においても初めて「口腔ケア」の文言が盛り込まれるようになり、今後は口腔ケアが薬学部の薬剤師教育において必須になっていくと考えられます。

そこで、薬局および病院で実臨床に携わる薬剤師が口腔ケアへ参画することを目指し、本学会薬剤師部会では口腔内のフィジカルアセスメントを実際に行うハンズオンセミナーを開催することといたしました。

本セミナーでは、薬剤師の先生方が日常臨床で遭遇することが多い「口腔乾燥症」をテーマとし、基礎知識に関する講義の後、模擬症例を用いた少人数のグループワークで知識を深めます。その後、実技実習として薬局窓口での模擬患者への対応、口腔内フィジカルアセスメントや口腔内清拭、保湿剤塗布などを経験し技能を獲得します。本セミナーでの知識と技能を、明日からの臨床現場で実践していただければと考えています。